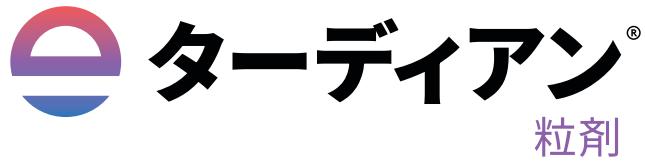


envU™

除草剤 芝用



根にやさしく長く効く
グリーン周りのスズメノカタビラ対策

登録商標 第6837905号



こんなあなたに

- ベントグリーン周りや特定の場所のスズメノカタビラ防除に困っている
- 秋に2回以上除草剤散布をしていて、薬害（特に根系）の懸念がある
- 茎葉処理剤はあまり散布したくない
- 除草に関する労力を減らしたい（追加の散布や手取り除草も含む）
- 天候や他の作業もあり、散布にまとまった時間を取りにくい
→分散して作業したい

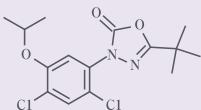
＼ ターディアン粒剤がお助けします／



ターディアン粒剤って？

有効成分： オキサジアゾン

光要求型の土壤処理剤
オレオールフロアブルと同じ



オレオールフロアブルのポイントは？

- ✓ スズメノカタビラやメヒシバに対する
土壤処理効果（ただし長期残効は望めない）
- ✓ 光の届かない芝の根系への高い安全性
- ✓ 生育中の緑葉にかかると薬害のリスク

粒剤のメリットは？

- ◎ 通常の希釈液散布時に必要なタンクへの注水、
希釈、攪拌等が不要で時間短縮につながる
- ◎ ドロップシーダーやサイクロンなどで均一散布しやすい
- ◎ 1人でも作業しやすい
- ◎ 隙間時間を活用して散布できる
- ◎ グリーンに入ってもプロアで吹き飛ばせる
- ◎ 芝の茎葉に付着しにくく、土壤に落ちやすいので
しっかりと土壤処理層ができやすい。
また、一般的に降雨の影響を受けにくい
- ◎ 茎葉処理剤が無いので、コストおよび薬害リスク減につながる

オレオールフロアブルと粒剤のいいとこどり

ターディアン粒剤のポイント

- ✓ オレオールに比べて有効成分量を大幅にUP（約3.2倍）し、
長期残効を実現。茎葉処理剤も不要
- ✓ 芝の根系への安全性は高く、茎葉処理剤による
薬害のリスクもない
- ✓ 散布剤に比べて葉面に付着しにくい粒剤なので
薬害リスク減
- ✓ グリーンに入ってもプロアで除去すれば
薬害リスクは低い

ターディアン粒剤：オキサジアゾン2.4% → 20g/m²=オキサジアゾン0.48g/m²

オレオールフロアブル：オキサジアゾン34.8% → 0.4ml/m²=オキサジアゾン0.15g/m²

$$0.48 \div 0.15 = 3.2$$

*オレオールの比重1.09

除草効果について

除草剤

芝用

農林水産省登録 第24951号

作用機構

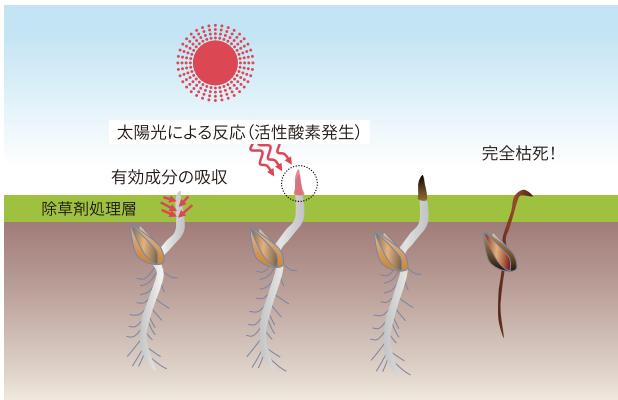
クロロフィルの生合成を阻害し、光の存在下で活性酸素を発生。細胞膜の過酸化損傷を引き起こす

有効成分	オキサジアゾン
阻害点	プロトポルフィリノーゲン酸化酵素(PPO)阻害
グループ名	N-フェニルオキサジアゾロン

出典:HARCコード 2025.2

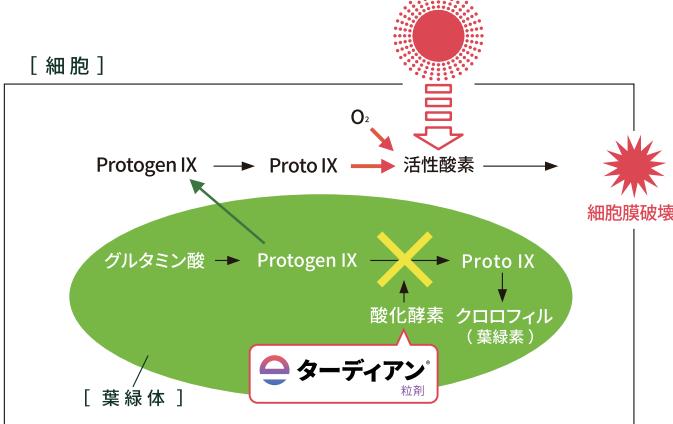
ターディアン粒剤の効果発現

土壤処理の場合



ターディアン粒剤の作用性

(PPO阻害剤)



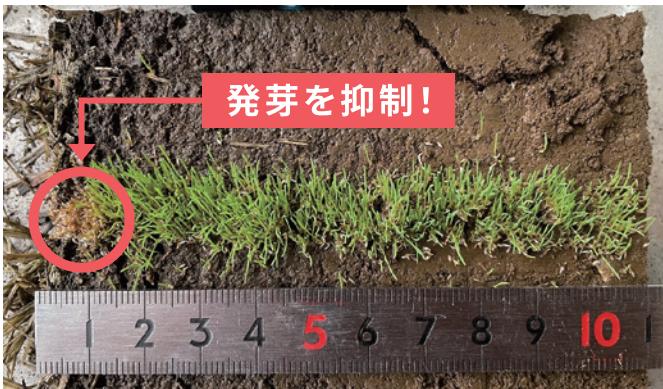
- ・クロロフィル合成経路を阻害します
- ・光の存在下で、活性酸素を発生させ、細胞膜の過酸化損傷を引き起こします→細胞枯死

長期残効の安定した効果を確認(散布169日後)

試験区の概要

試験場所：関東地方Aゴルフ場
ノシバ圃場
散布日：2023年9月6日
試験薬剤：ターディアン粒剤
散布量：20g/m²

試験区：1区10m²
採取日：2024年2月22日
(散布169日後)
撮影日：2024年3月5日



スズメノカタビラに対する防除効果

試験区の概要

試験場所：関東地方Bゴルフ場
グリーン周り
散布日：2024年10月2日
調査日：2025年3月20日(散布169日後)



散布方法について

ドロップシーダー



動画はコチラ



サイクロン



動画はコチラ



粒剤は均一散布が効果安定と薬害リスク減に最も重要です

●事前準備のポイント

ドロップシーダーで散布する場合

ウォーキングメジャーにてグリーンの約1m外周を測定する。

ドロップシーダーの幅と測定した長さを掛けて面積を算出する

サイクロンで散布する場合

グリーンの約2m(想定している散布幅)外周を測定する。

想定している散布幅と測定した長さを掛けて面積を算出する



$$\text{面積} = \text{外周の測定値} \times \frac{\text{ドロップシーダー}}{\text{サイクロンの幅}}$$

実際に散布する際のポイント

◎ドロップシーダーの場合、グリーンエッジとの合わせに注意する。

タイヤではなく、バケットの端をグリーンエッジに合わせる

◎2-3周して全量を撒ききるように目盛りを調整する

◎1周目から2周目にいくときにバケットを開閉せず、そのまま撒き続ける(開閉するときに多量に落ちてしまうため)

◎グリーンの中に入ってしまった粒剤はプロアで吹き飛ばす

(風力が強すぎるとグリーン外周部分の粒剤も飛ばしてしまうので注意)

安全に使用するためには

均一に散布することが最も重要です。気温や散布時間帯にも注意



30°C未満

散布時及び散布後の最高気温は
30°Cを下回る時期に使用して下さい

除草効果の安定と薬害リスクの軽減の
傾向がみられています



15時以降

15時以降に散布して下さい

散布後の日射量に比例して、薬害リスクが高まります。
また芝の葉面が乾燥しているので、粒が土壌まで
落ちやすくなります。さらに早朝の散布は朝露が
発生しているので薬害リスクが高まります

こんなときは？



日本芝に薬害が発生した



日本芝の薬害（葉焼け）は2~3週間程度で
回復します



ベントグリーン内に入った粒剤が入った



速やかにプロアで吹き飛ばせば
薬害リスクは大幅に軽減します



動画はコチラ



薬害症状の事例



夏期高温時の散布



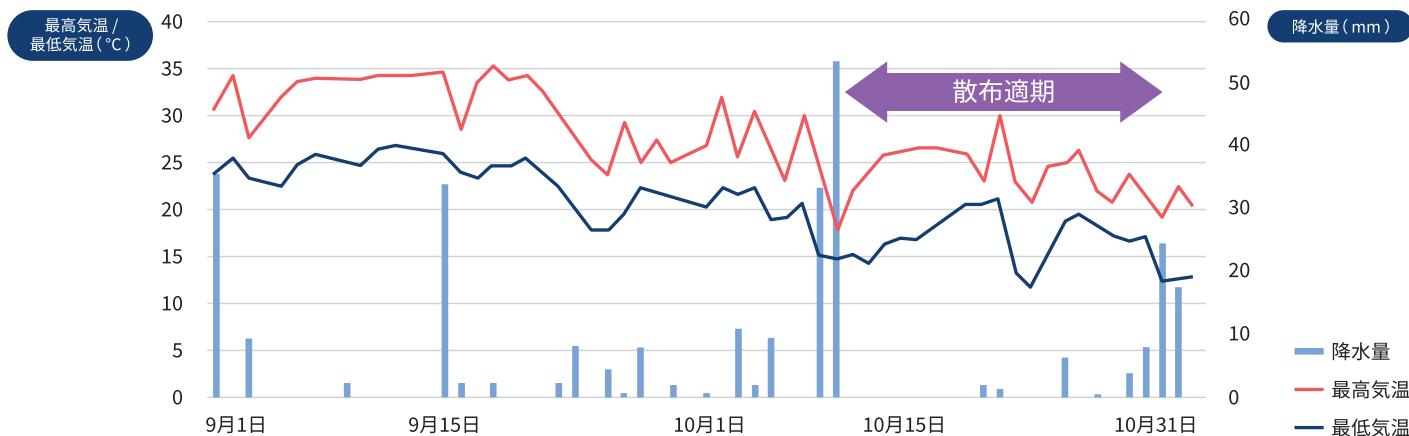
ブチ状の薬害症状



ブチ状の薬害症状（近接）

散布タイミング

2024年9~10月 東京の気象データより



適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	オキサジアゾンを含む農薬の総使用回数
日本芝	一年生雑草	芝生育期 雑草発生前	15~25g/m ²	2回	全面土壌散布	2回

ターディアン粒剤とは

種類名	オキサジアゾン粒剤
有効成分	オキサジアゾン(化管法1種)…2.4%
作用機構	プロトボルフィリノーゲン酸化酵素(PPO)阻害
性状	類白色～淡褐色細粒
荷姿	3.5kg×8袋

人畜・水産動物に対する安全性(製剤)

急性毒性 普通物*	経口	ラット	LD ₅₀ >5,000mg/kg
	経皮	ウサギ	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に 対する影響	ニジマス		LC ₅₀ 1.2mg/L(96h)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 2.4mg/L(48h)
	淡水性緑藻		ErC ₅₀ 0.0056mg/L(72h)

*「毒物および劇物取締法」に基づく毒劇物の指定を受けない物質を示す

⚠ 効果・薬害等の注意

- 一年生雑草の発生前に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください
- 降雨や朝露などで日本芝の葉上に水滴がある場合は、薬害を助長するので使用しないでください
- 一時的に黄変や褐変などを生じることがあるが、2~3週間で回復し、その後の生育に影響を与えるません
- 薬害を生じるおそれがあるので寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーグラウンドに飛散しないように注意してください
- 開封した容器は密封し出来るだけ早く使い切ってください
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです

- 皮ふに付着しないように注意してください。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください(刺激性)
- 敷設時は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください
- 公園などで使用する場合、敷設区域に縄張りや立て札を立て、敷設中および敷設後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜などに留意してください

水産動植物の被害防止等に関する注意事項

- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください(魚類、藻類)。

⚠ 貯蔵上の注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して冷涼な所に密封して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



エンバイロサイエンスジャパン株式会社

〒100-0004
東京都千代田区大手町 1-6-1
www.jp.envu.com



お問い合わせ先